MS343－42003
GR リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はGR リヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MS343-42003	ブラック(202)	RAV4	

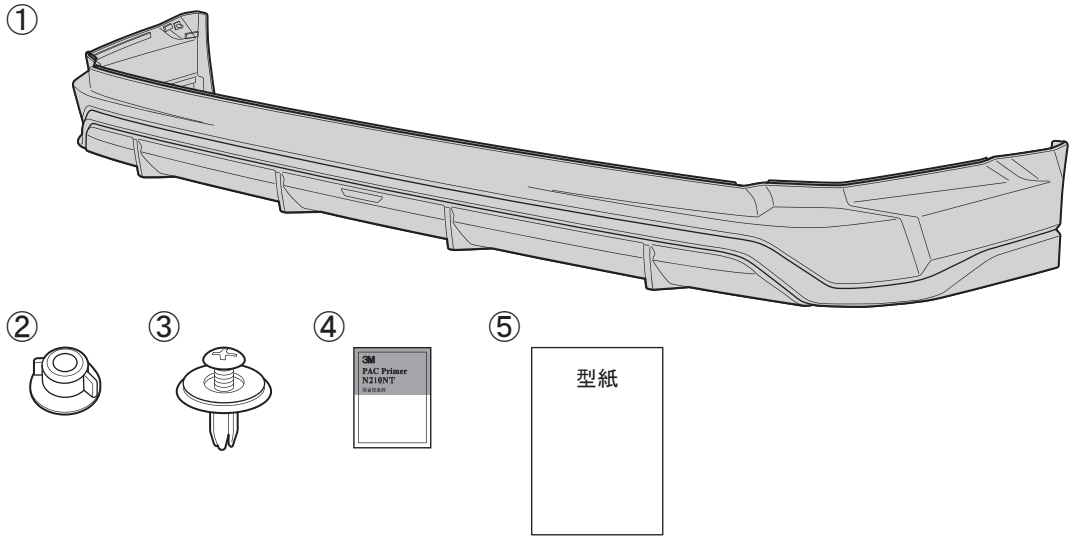
・ 最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品名	品番	数量	備考
①	リヤバンパースポイラー	―	1	PP
②	クリップナット	―	2	PA66
③	スクリベット	―	6	PA6
④	PACプライマー(赤袋)	08867－00250	1	3M N210NT
⑤	型紙A B C	―	1	

※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ リペアパーツセット(補給)

品番	備考
MS380-42H10	②③④⑤⑥⑦⑧⑨のセット同梱

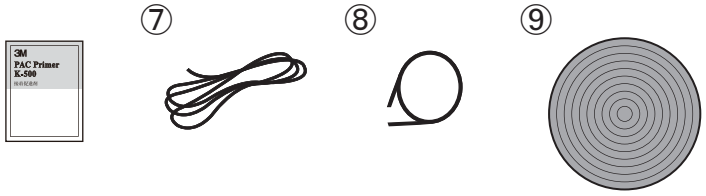
※本品は補給専用のため、MS343-42003には付属しておりません。

■ 補給部品

No.	品名	品番	数量	備考
⑥	PACプライマー(青袋)	08867－00230	1	3M K-500
⑦	イ型モール	―	1	3000㎜
⑧	エプトシーラー	―	1	500㎜
⑨	両面テープ	―	1	W10 2500㎜

※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 補給部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。
締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。

❗ エンジンルーム内、ラジエーターキャップ付近に配線を通したり部品の取り付けがある場合は、腕当てや上着がラジエーターキャップに接触し、キャップが緩む場合があります。
ラジエーターキャップが緩むと冷却水が飛び出し思わぬケガや、そのまま走行した場合オーバーヒートに繋がるおそれがあります。
ラジエーターに限らず、用品取り付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

❗ タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないようご注意ください。

❗ 特に指示のない限り、取外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)で行ってください。
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

❗ 両面テープの圧着はテープの直上を49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に押してください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。

❗ 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

取り付けが終わったら

❗ 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。

❗ 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。

❗ 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。

❗ 該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
取り付け上のご注意　（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・・・・・４
取付準備、取付要領、取付完了後の点検・注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～９
補修キット部品貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

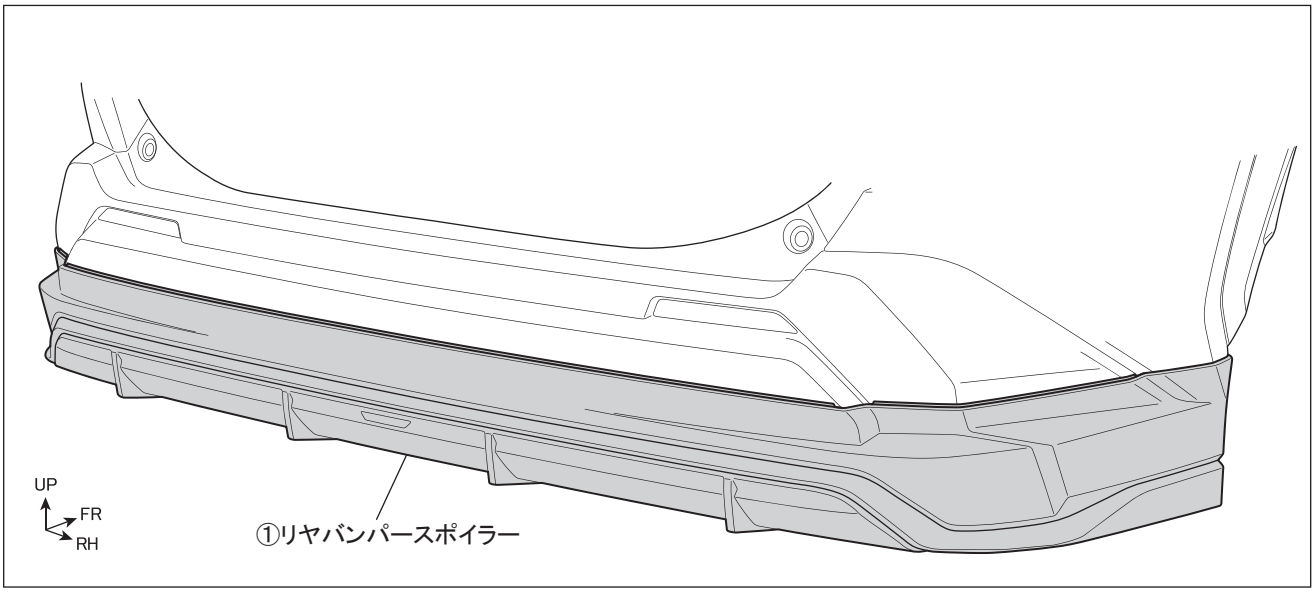
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ケガキ針
・電動ドリル（刃：3.0mm/6.5mm/12.0mm）
・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はTRD パーツカタログサイト＜https://www.trdparts.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

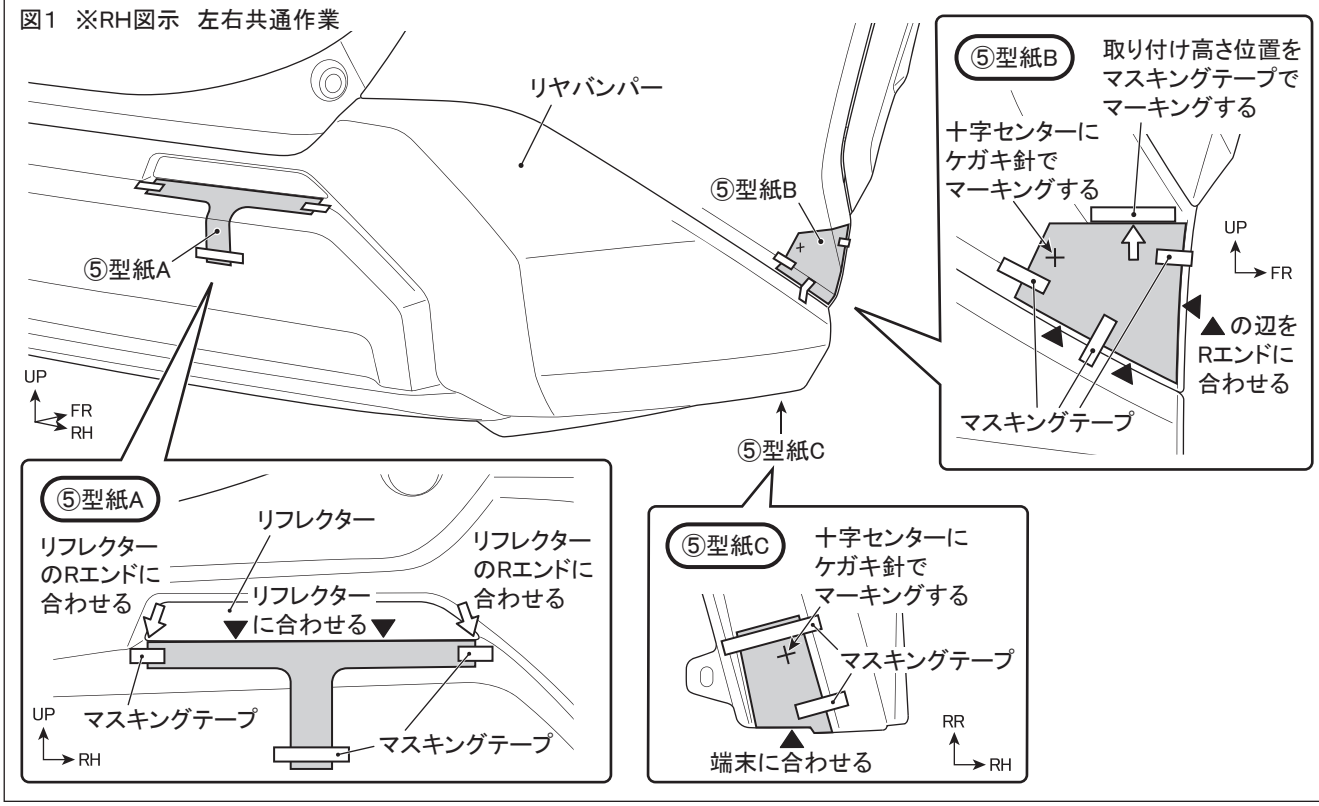


■ 取付準備、取付要領

【型紙貼り付け】

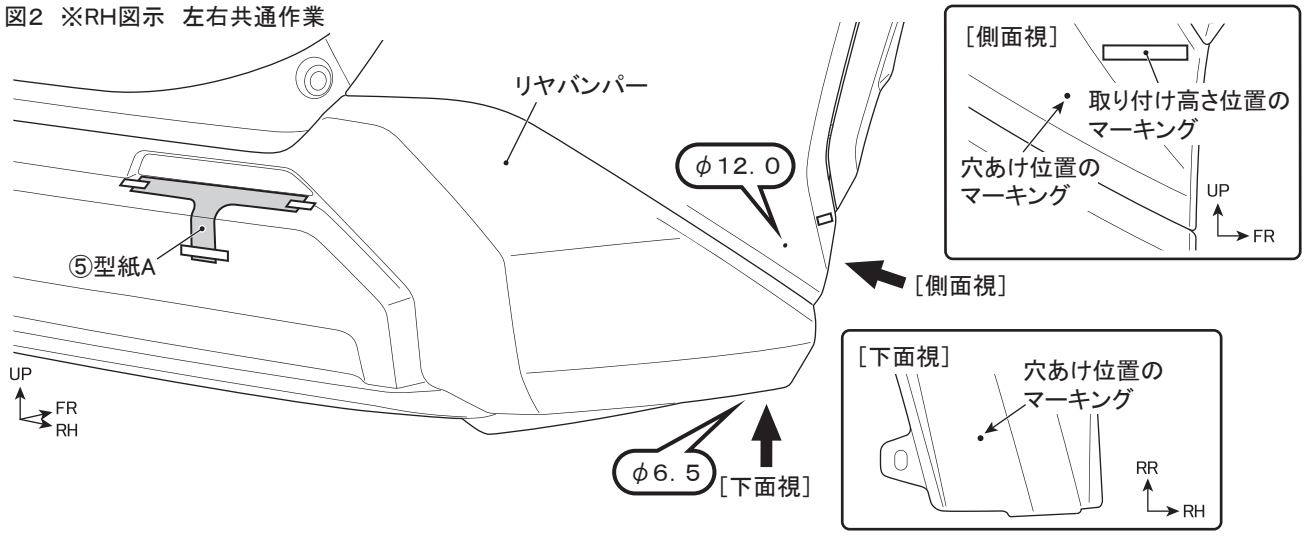
1. ①リヤバンパースポイラー（以下①スポイラーとする）取り付けの位置出しと、リヤバンパーに締結用の穴あけのため、⑤型紙A B Cをマスキングテープ等で貼り付ける。（図1参照）

図1 ※RH図示 左右共通作業



2. ⑤型紙Bを剥がしマーキング位置で下穴φ3.0→φ6.5→本穴φ12.0の順で穴をあける。
⑤型紙Cを剥がしマーキング位置で下穴φ3.0→本穴φ6.5の順で穴をあける。
穴あけ後、バリを除去する。（図2参照）

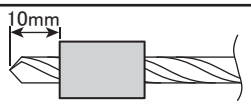
図2 ※RH図示 左右共通作業



⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

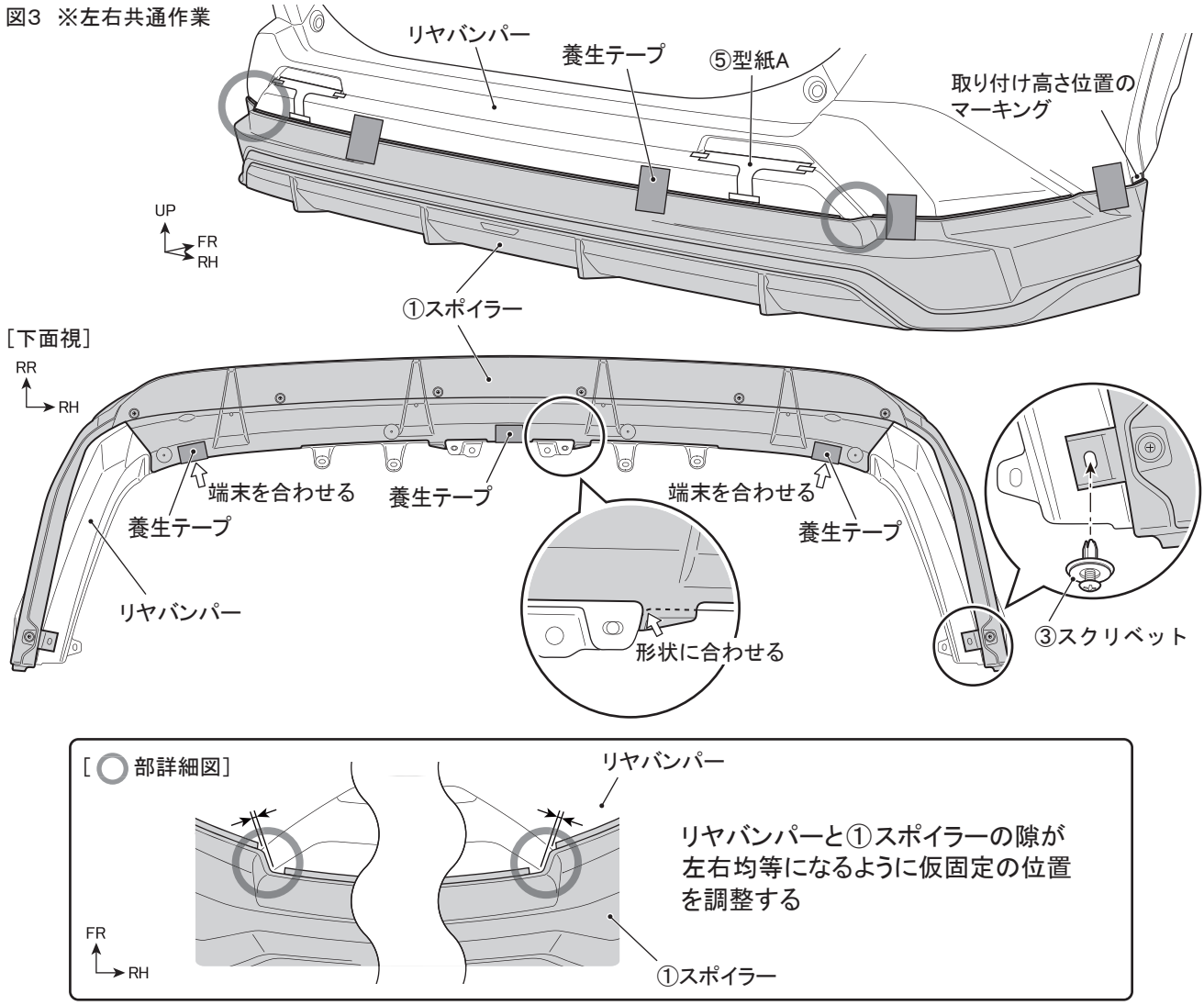
アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



【仮合わせ】

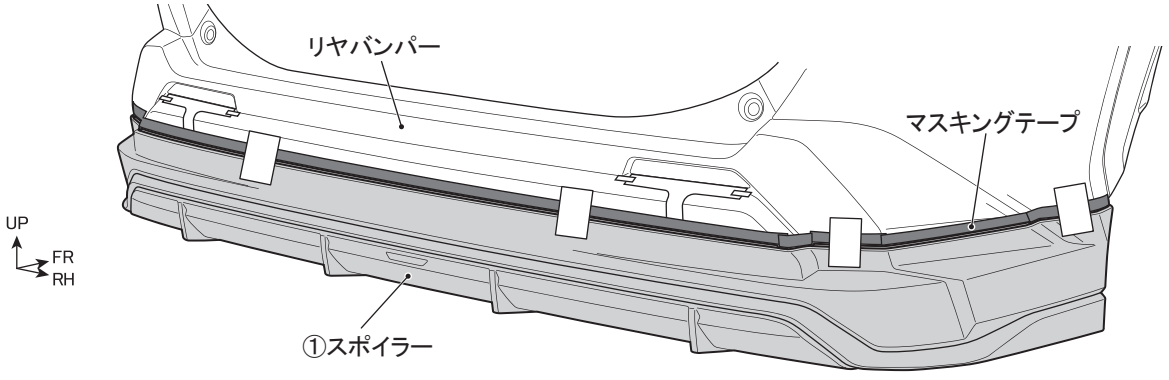
1. ①スポイラーをリヤバンパーに被せ、側面のスクエアヘッドボルト（2箇所）をリヤバンパーにあけた穴φ12．0に差し込み、①スポイラーが脱落しないように養生テープで仮固定する。
下面中央の凸部をリヤバンパーの締結部フランジの角の形状に合わせ、左右部の端末を合わせて、養生テープで固定し、側面のブラケット（左右）をリヤバンパーにあけた穴φ6．5に③スクリベットで固定する。
⑤型紙Aにモールの先端、側面の取り付け高さ位置のマーキングに①スポイラーの上端を合わせて、図（○）部のリヤバンパーと①スポイラーの隙が左右均等になるように仮固定の位置を調整する。（図3参照）

図3　※左右共通作業



2. ①スポイラーの上端に合わせて、両面テープ貼り付け部の脱脂およびプライマー塗布のために、マスキングテープを貼り付ける。（図4参照）

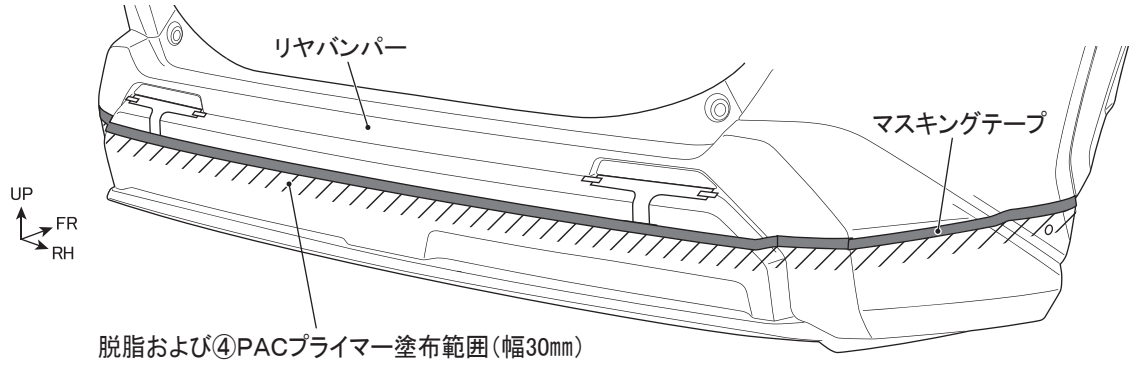
図4　※左右共通作業



【脱脂およびプライマー塗布】

1. ①スポイラーを取り外し、図5の斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、④PACプライマーを塗布する。

図5 ※左右共通作業



⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

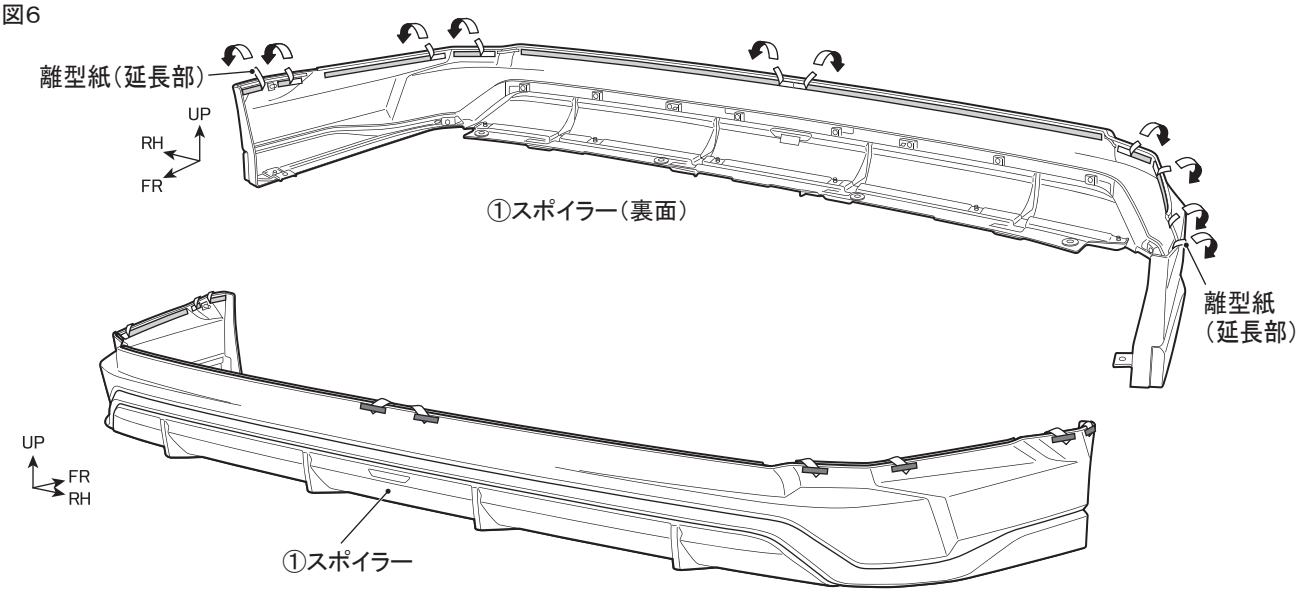
⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. マスキングテープを剥がす。⑤型紙Aと高さ位置のマーキングは剥がさない。
3. ①スポイラー裏面の両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。
   側面タイヤハウス部の両面テープは離型紙（延長部）を、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。（図6参照）

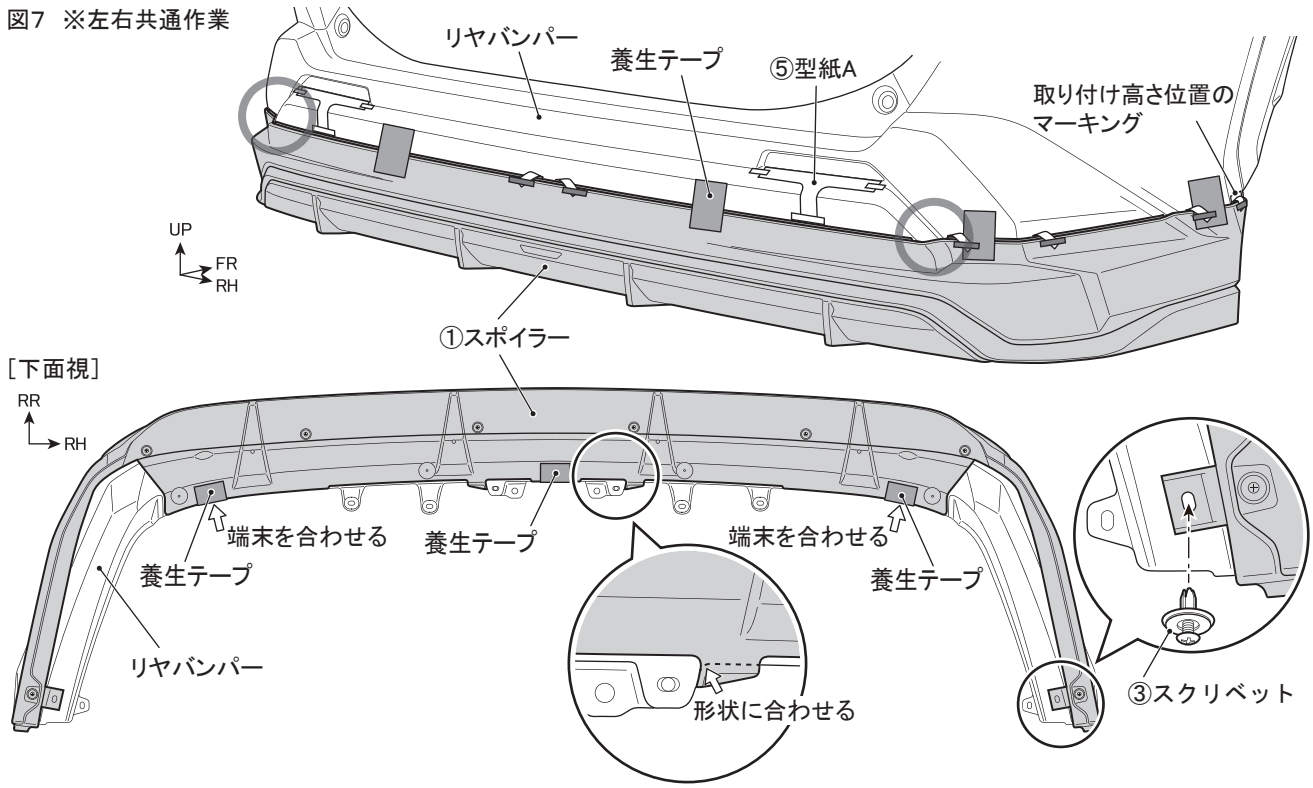
図6



【取り付け】

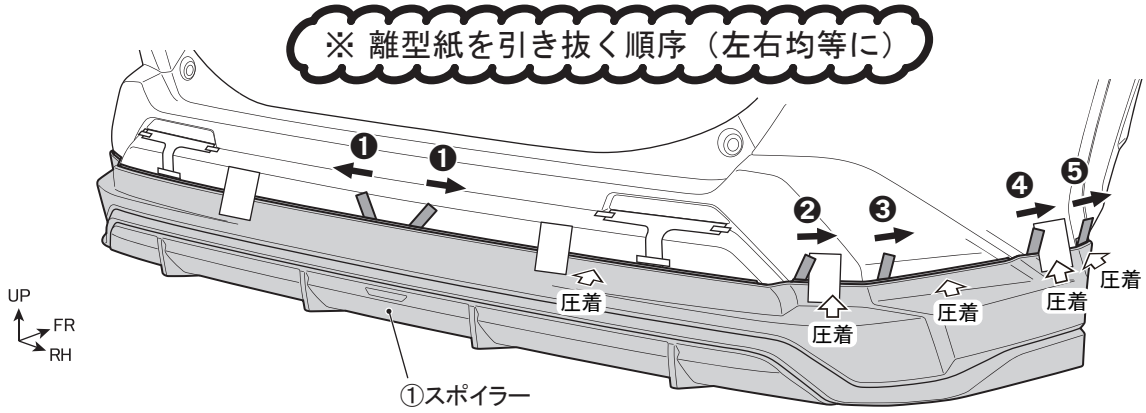
1. ①スポイラーをリヤバンパーに被せ、仮合わせの手順で位置を合わせて固定する。(図7参照)

図7 ※左右共通作業



2. ①スポイラーの取り付け位置にズレがない事を確認して、図8のように❶から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き圧着する。

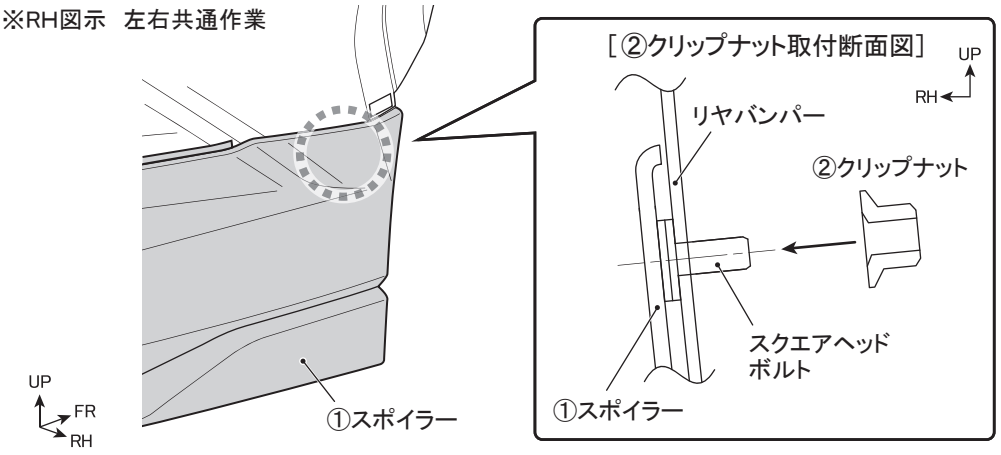
図8 ※左右共通作業



アドバイス： 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm2)程度の力で行なってください。

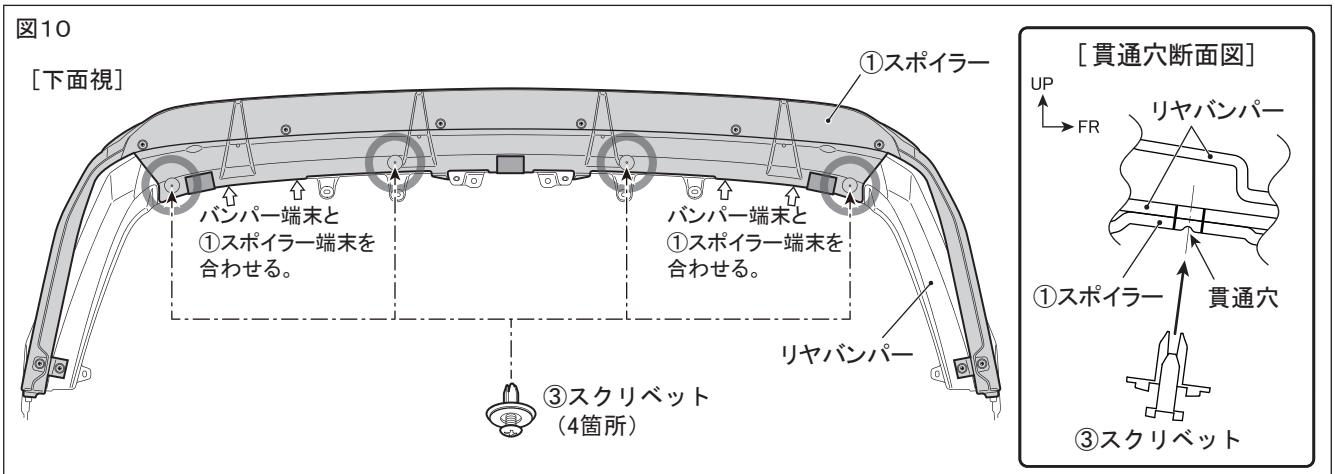
3. リヤバンパー裏側から、①スポイラーのスクエアヘッドボルトに②クリップナットを取り付け、奥まで差し込んで締め込む。（図9参照）

図9 ※RH図示 左右共通作業



4. ①スポイラーを下面〇座の円錐状凹部（4箇所）で、リヤバンパーと一緒に貫通で下穴をφ3.0、本穴をφ6.5であけ、③スクリベットでリヤバンパーに固定する。（図10参照）

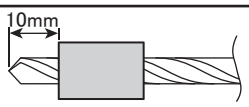
図10



⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



5. 型紙およびマスキングテープ、養生テープを全て剥がす。
6. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

■ 取付完了後の点検・注意事項

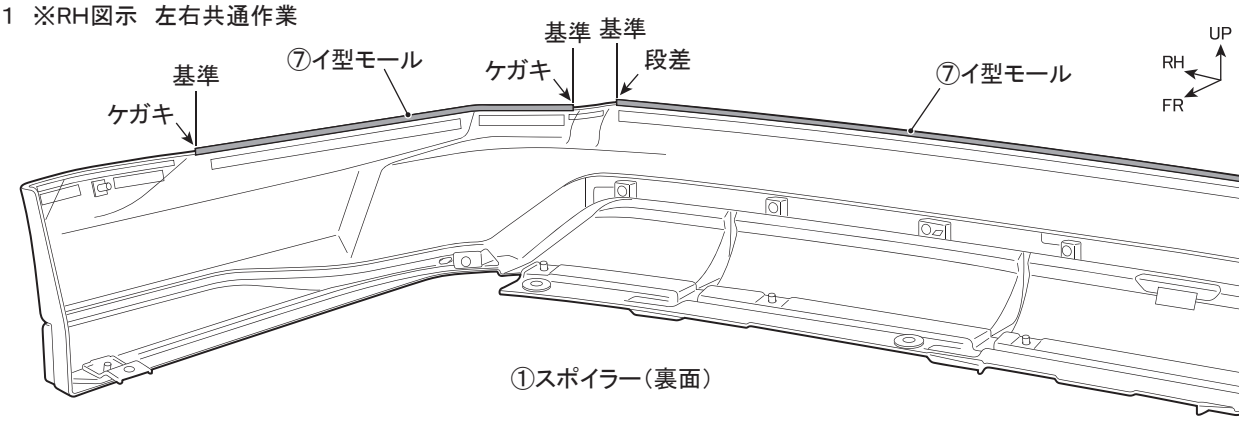
1. 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
6. 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

■ 補修キット部品貼付

下記は補修キットを使用して①スポイラーの再取り付けを行なう際の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

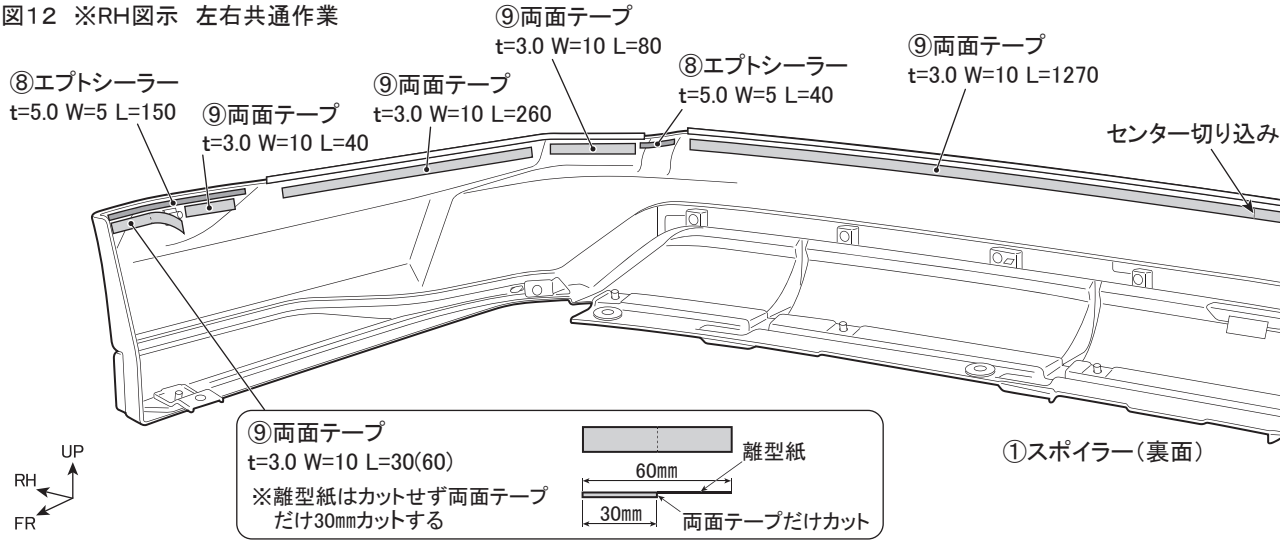
1. 図11のように、モール貼り付け部をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑥PACプライマーを塗布し、基準位置に合わせて⑦イ型モールを貼り付ける。

図11 ※RH図示 左右共通作業



2. 図12のように、⑧エプトシーラー、⑨両面テープ貼り付け部をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑥PACプライマーを塗布し、ケガキに合わせて⑧エプトシーラー、⑨両面テープを貼り付ける。

図12 ※RH図示 左右共通作業



⚠ 注意

・プライマー開封前に必ず使用要領を読んでください。
・プライマーは塗装面を黄変させるため、マスキングするか
はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
・イソプロピルアルコール(IPA)を使用する際は火気に充分注意してください。
・プライマー塗布後24時間以内で乾燥時間をとってください。
・塗布後24時間以上プライマー乾燥を行った場合は、プライマーを塗りなおしてください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＧＲ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

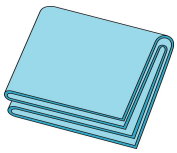
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

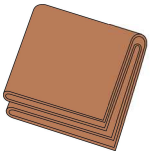
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

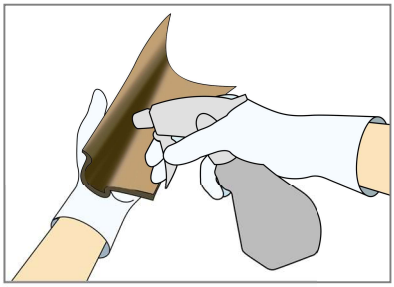

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

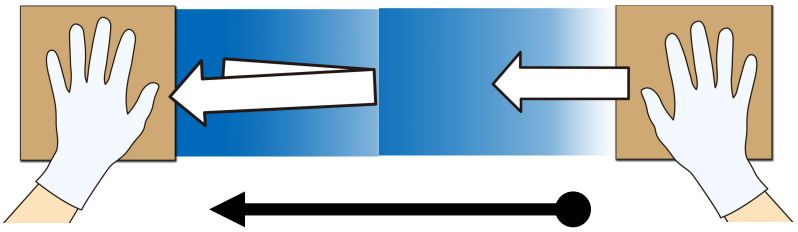


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

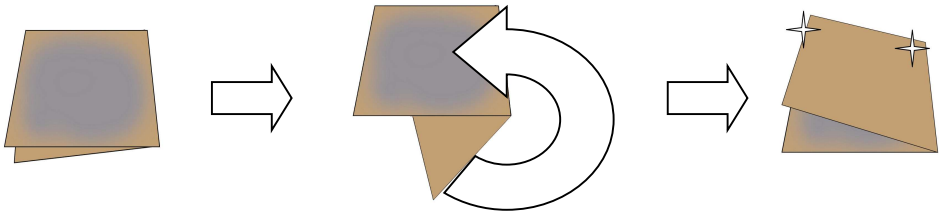
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。